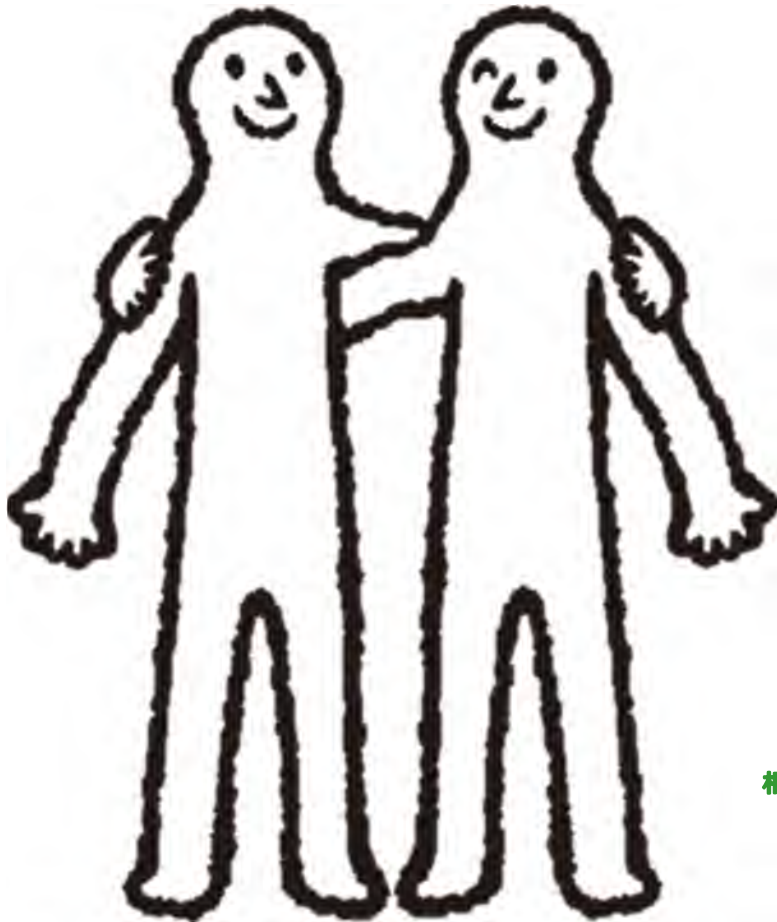




澗水都市 さがみはら

がん検診受診促進 パートナー制度

【事業詳細案内】



健活！さがみはら
みんなで伸ばそう 健康寿命
相模原市は、皆さんの健康づくりを応援します

相模原市

がん大国 日本。

がんによる人材損失リスクが高まっています。

日本は人口比におけるがんの死亡割合が世界でも高く、“がん大国”といっても過言ではありません。

がんになる人

日本人の2人に1人、がんになる

一生のうちに「がん」と診断される確率...男性62%、女性46%

年間約

101万
人



男性

年間約

57.6万人



女性

年間約

43.8万人

COLUMN

男女別 なりやすいがん

男性：1位 胃がん
2位 肺がん
3位 大腸がん

女性：1位 乳がん
2位 大腸がん
3位 胃がん

1980年代までは胃がんが多くを占めていましたが近年、胃がんの割合は減少傾向です。



がんによる死亡者数

日本人の3人に1人、がんが死因

男性では約4人に1人、女性では約6人に1人の割合

年間約

37.8万
人



男性

年間約

22.2万人



女性

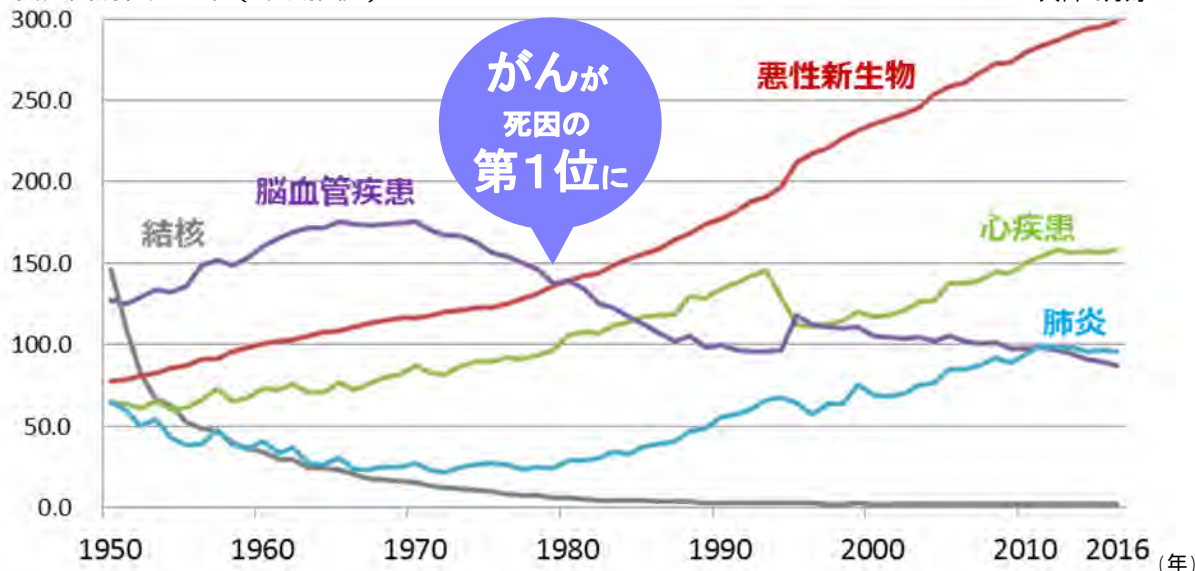
年間約

15.6万人

1981年（昭和56年）以降、がんは死因の第1位となり
全体の約3割を占めています。

主要死因別粗死亡率（年次推移）

人口10万対

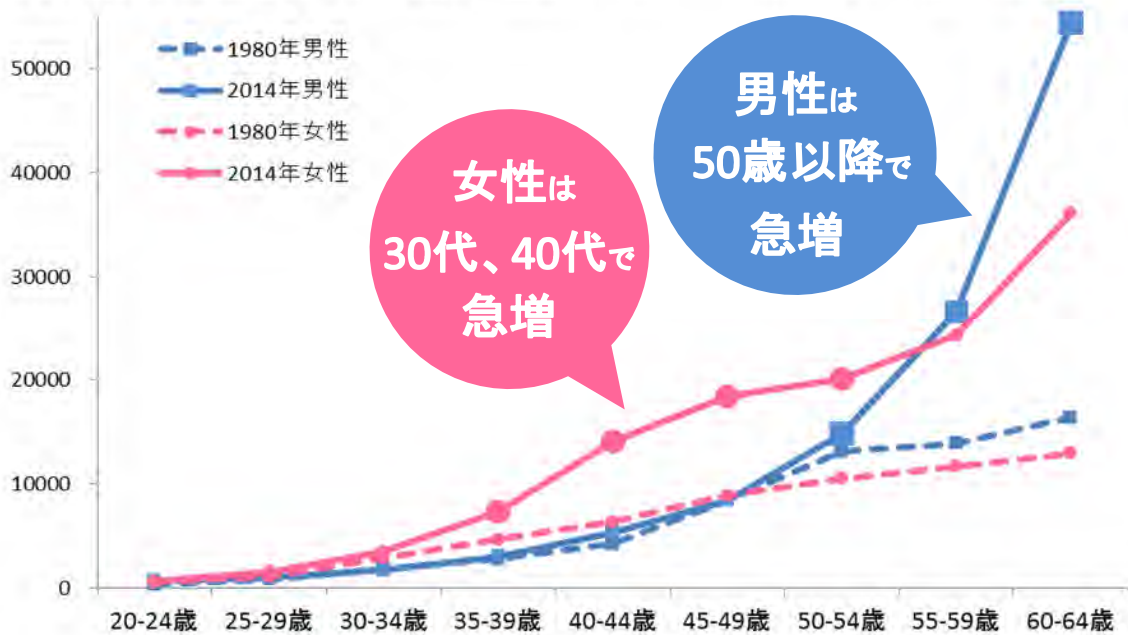


働き盛りの世代に がんが増えています。

「若いから、がんは関係ない。」は、間違いです。

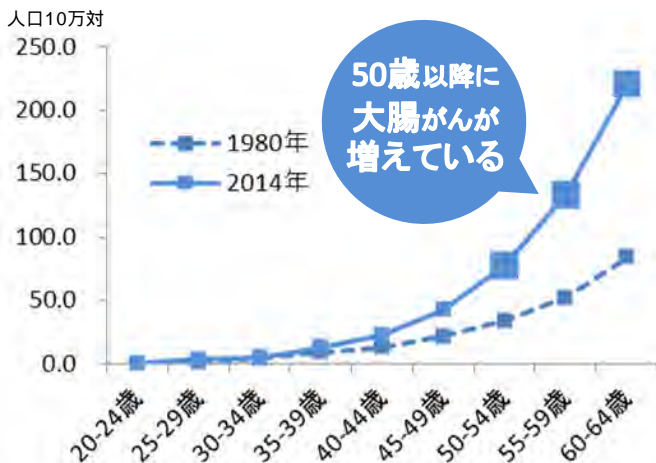
男性は50歳以降、女性は30代、40代で、がんと診断される人が急増しています。

男女別 がん罹患数 年次推移 (国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」より)

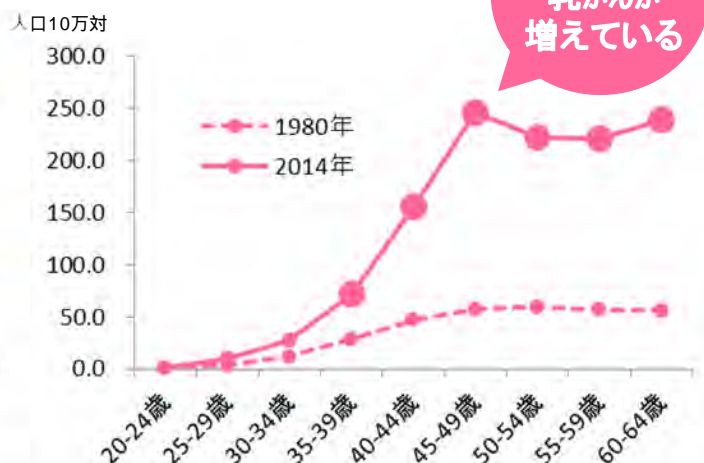


50代前半までは、女性の方が、がんと診断される人が多い傾向にあります。特に、40代～60代前半までの女性のがんは、急増しています。男性は、50代後半から急増しています。

大腸がん罹患率 年次推移 (男性)



乳がん罹患率 年次推移 (女性)

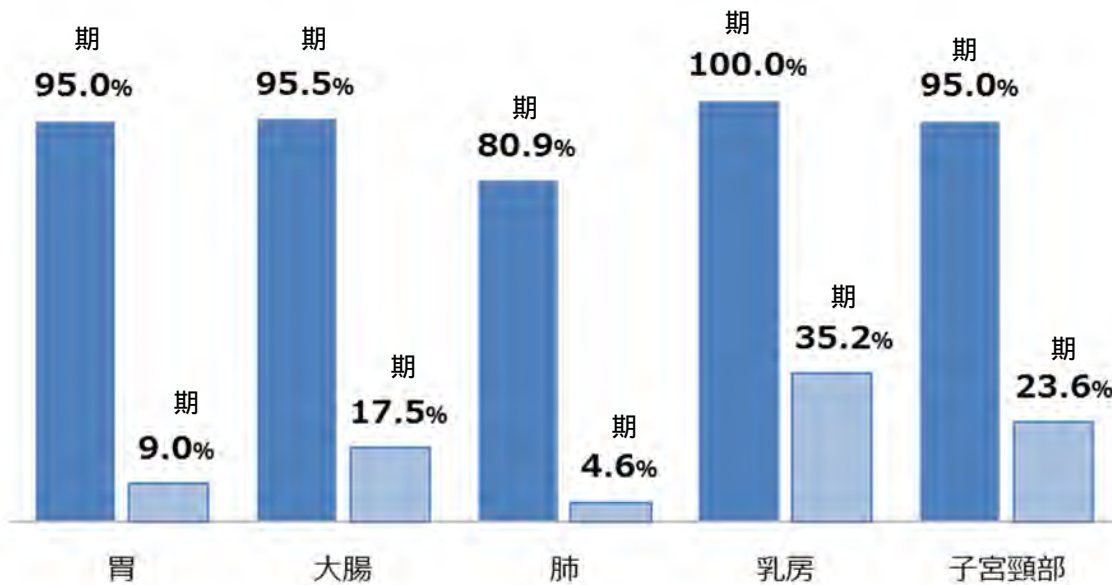


がんは早期発見が重要。 だから、「がん検診」。

現在は医療が進歩し、治癒する確率が高くなっています。

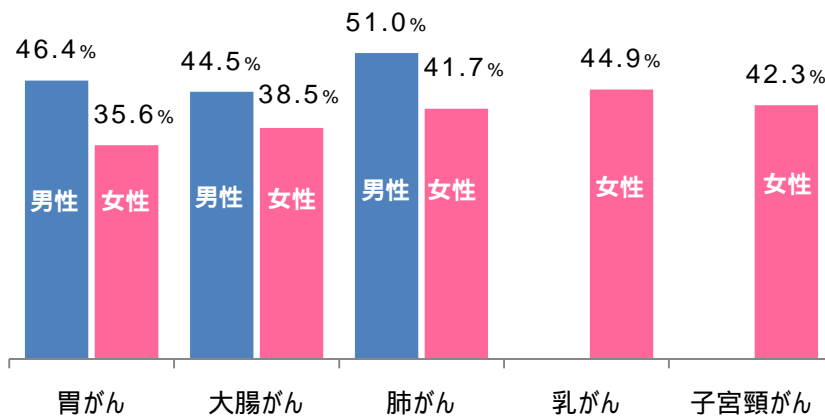
がんが進行する前の「早期がん」のうちに発見し、治療を開始すれば、高い確率で治癒します。

期（早期がん）と 期（進行がん）の5年相対生存率の比較



日本人のがんが増えている一方で、日本のがん検診受診率は、35%～45%。他の先進国と比べると、とても低い数字です。

日本のがん検診受診率



COLUMN

世界のがん検診受診率

OECD（経済協力開発機構）加盟諸国のがん検診受診率は70～80%です。

【乳がん検診（50～69歳）】
 アメリカ：80.8%
 ドイツ：73.5%
 韓国：65.3%

【子宮頸がん検診（20～69歳）】
 アメリカ：83.3%
 ドイツ：80.4%
 韓国：55.7%



がんの早期発見のメリットは、治る可能性が高くなるだけではありません。がん治療の負担が、身体的にも、経済的にも、心理的にも軽くなり、仕事との両立もしやすくなります。

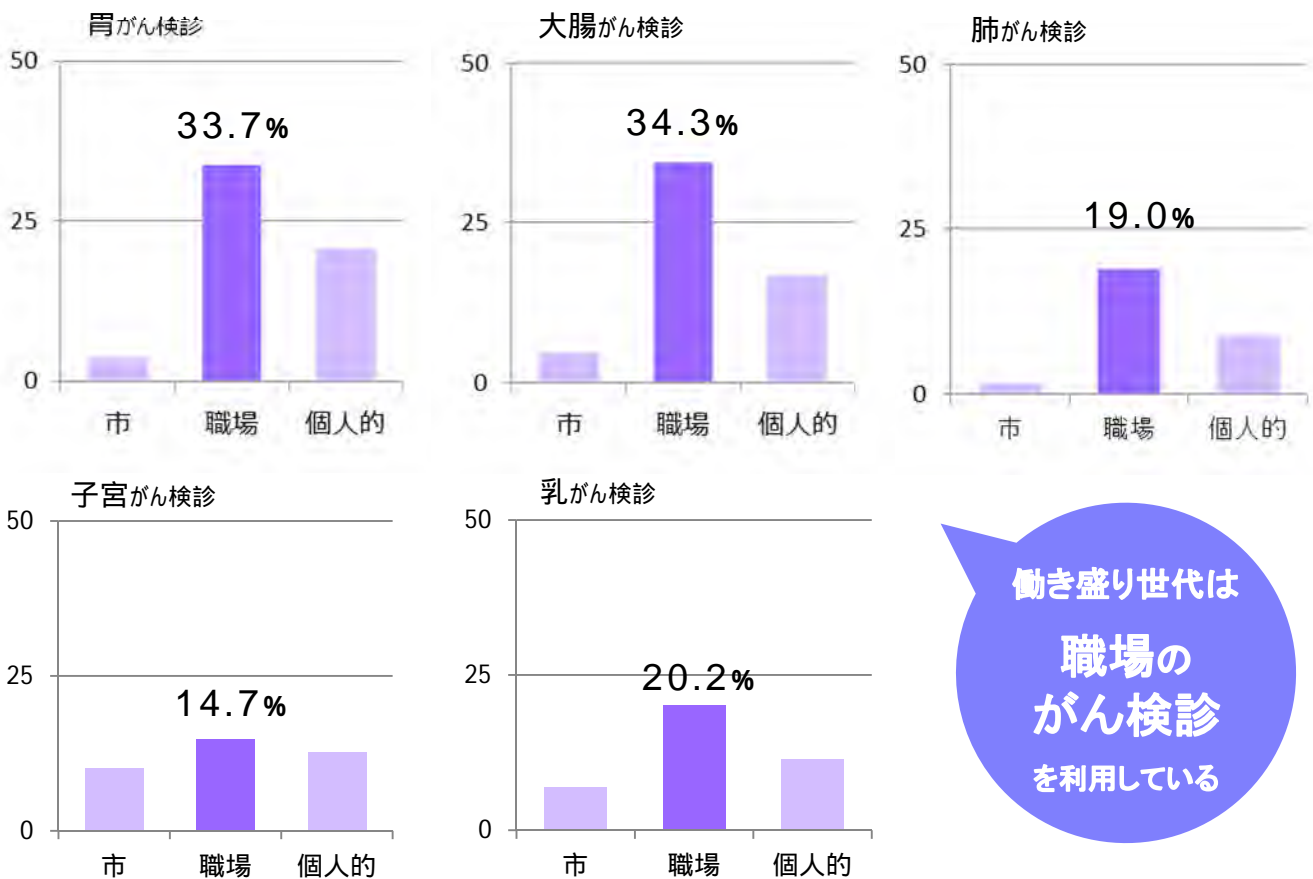
働き盛りの世代には 職場のがん検診が重要。

働いている人の多くは、職場でのがん検診を利用しています。

市内の事業所に勤める方を対象とした調査では、どのがん検診も『職場が実施する検診』を利用している方が最も多い結果となりました。

受診したがん検診の種類と受診場所（市内事業所対象）

市；市が実施するがん検診 職場；職場が実施するがん検診
個人的；個人的に医療機関で受診



働き盛り世代は
職場の
がん検診
を利用している

出典：相模原市「市民生活習慣実態調査 報告書 平成28年度」より

平成30年3月、職場のがん検診を効果的に実施するために
『職域におけるがん検診に関するマニュアル』が制定されました。

職域におけるがん検診に関するマニュアル <https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000200734.html>

COLUMN

『がん検診』を受けていない理由で、いちばん多い理由は？

相模原市『市民生活習慣実態調査（平成28年度）』によると、がん検診を受けていない理由の第1位は、“何となく”でした。

【がん検診を受けていない理由（事業所従業員）】

- 1位 何となく（27.1%）
- 2位 忙しい（23.8%）
- 3位 がん検診について知らなかった（21.6%）

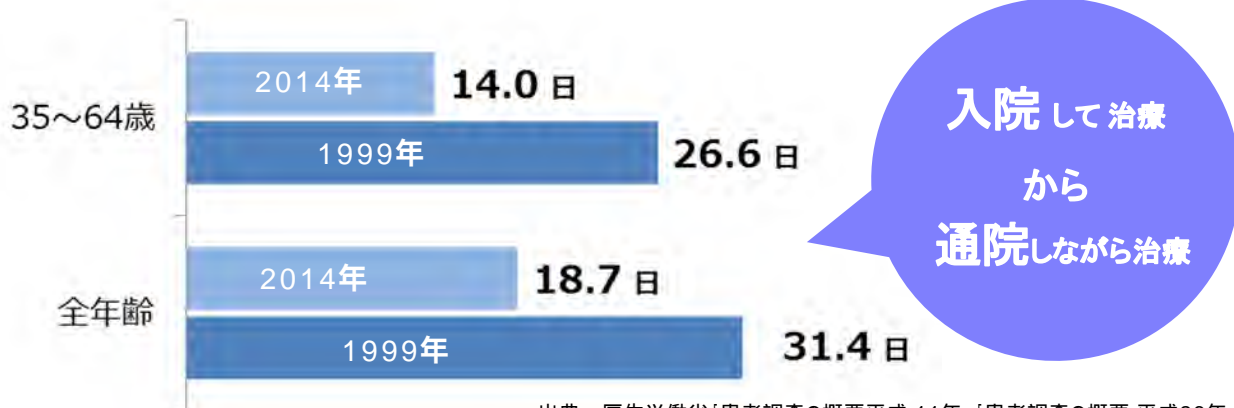


『がんでもしっかり働ける』 を応援する。

がん治療と仕事の両立のために、企業全体で取り組むことが重要です。

現在は医療が進歩し、がんの治療効果が上がっただけでなく、選択できる治療方法も増えています。

退院患者（悪性新生物）の平均在院日数

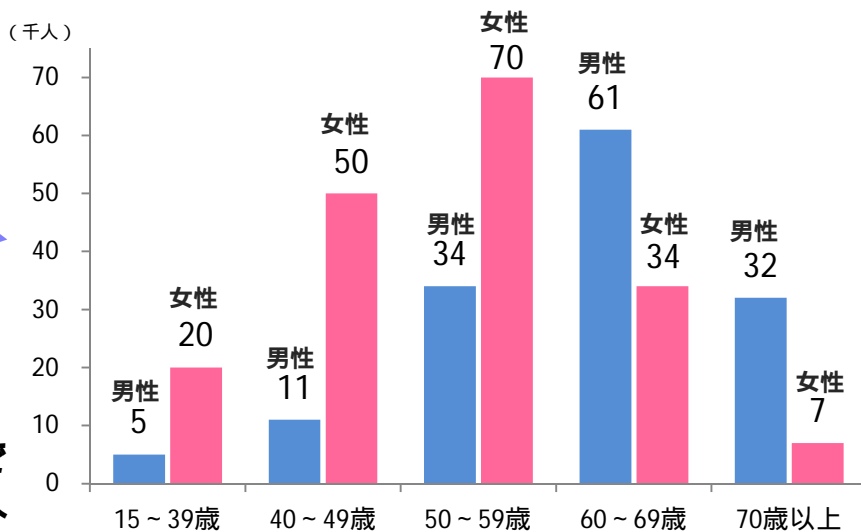


出典：厚生労働省「患者調査の概要平成11年」「患者調査の概要平成26年」より

日本のがん治療は、世界でも高い水準です。
がん治療の入院日数は年々短くなり、週に数回の通院で治療する方が増えています。

仕事をしながら
がん治療で
通院している人
約 **32.5万**
人

仕事をもちながら悪性新生物で
通院している人



出典：厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」より

COLUMN

『従業員が治療を受けながら安心して働くことができる』環境づくりをお手伝い

神奈川産業保健総合支援センターには、治療と仕事の両立を支援する両立支援促進員（保健師、社会保険労務士等）が、配置されています。

【提供している主な支援内容】・・・支援はすべて無料です

個別訪問支援（治療と職業生活の両立支援に関する制度導入の支援や、意識啓発を図る教育の実施）
事業者等に対する啓発セミナー 窓口での相談 など

【お問い合わせ】

神奈川産業保健総合支援センター < 平日 午前9時30分から午後5時 >

横浜市神奈川区鶴屋町3-29-1 第6安田ビル3階 Tel 045-410-1160 Fax 045-410-1161



がん検診受診促進パートナー 登録のメリット。

パートナー登録における費用のご負担はありません。

がん検診受診促進パートナーにご登録いただくと、がん対策の啓発ツールを無料でご提供します。
配布部数に限りがあるため、電子データでの配布になる場合があります。

▶ がん検診啓発ツール



がん検診の
ご案内や
各がん予防の
パンフレット
ポスターなどを
ご提供します

▶ 市HPなどでの取り組み事例の共有

各企業、団体の取り組みを市HPで紹介しています。パートナー同士の情報共有だけでなく、自社の取り組みを広く周知することができます。

詳しくはこちら ▶
市HP「がん検診パートナー制度」



パートナー制度に
登録するには



- 1 ▶ 「相模原市 がん検診受診促進パートナー登録申込書」及び必要書類を御提出ください（相模原市 保健所 健康増進課）
- 2 ▶ 御提出いただいた書類をもとに、登録要件を満たしているかなどの審査を行います。
- 3 ▶ 審査・承認後、「相模原市 がん検診受診促進パートナー登録証」を交付いたします。



発行：相模原市 保健所 健康増進課

〒252-5277
相模原市中央区中央2-11-15
☎ 042-769-8322 (直通)